

「国史 奈良の変」論考 2024.7.6

まとめ 組織テロ 様々な事実 高田純 理学博士

- 1 山上では無い狙撃弾があった 音と映像の事実
- 2 山上パイプ空砲の証拠 低音の銃声 爆音の短い共鳴時間
ネジ蓋底が吹き飛んでいない
- 3 山上から吹き出した白煙ベクトル上の二人 櫻井とSPが無傷
- 4 山上パイプからの弾丸は安倍さんに命中していないのに安倍さんに
銃弾が頸部前右側に命中し心臓に大きな穴を開けた 山上以外の狙撃あり
- 5 奈良県警は事件直後に山上単独犯と断定し、事件を矮小化し真相に迫らない
- 6 被害者の治療にあたった奈良医大教授の死因報告（公開）と奈良県警の法医
解剖報告（非公開）が真逆で矛盾
- 7 被害者元総理大臣の未警護（山上発砲前に捕獲せず）と不適切な現場検証
（銃弾の未発見 現場検証5日後 怪しい弾痕） 山上発砲位置警察報告が変・・・疑惑の奈良県警
- 8 櫻井狙撃映像の公表と警察届出が変
- 9 国会に真相究明委員会が設置されなかった
- 10 全マスコミが真相究明に迫らない 事件翌朝の新聞一面見出しが全紙同一
- 11 安倍晋三総理の名誉を傷つける事件後の種々の事象
- 12 日本の政治経済の沈没現象

以上の事実から「奈良の変」には

国家中枢に大きな闇の力「木馬」が作用していると推察 「奈良の変」は未解決